



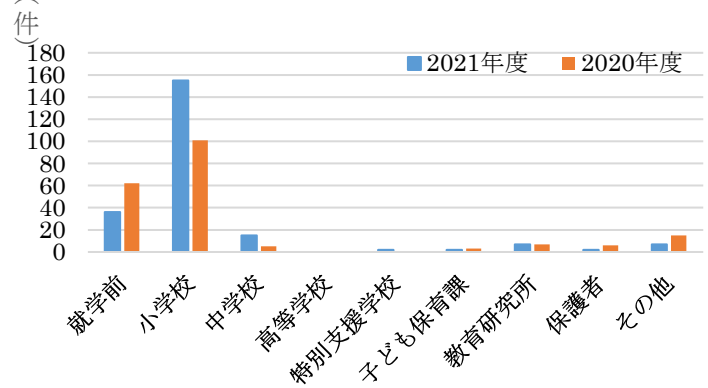
今回は、令和3年度の校外支援の実施状況についてお知らせします。本校，センター的機能における校外支援の実施件数は226件でした。昨年度は，204件でした。以下に，依頼者と依頼内容をお知らせします。

## 1. 依頼者別の相談件数

	就学前	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	子ども保育課	教育研究所	保護者	その他
件数(件)	36	155	15	0	2	2	7	2	7
割合(%)	16	69	7	0	1	1	3	1	3

割合は，小数点以下を四捨五入しています。

依頼者別 相談件数の前年度との比較

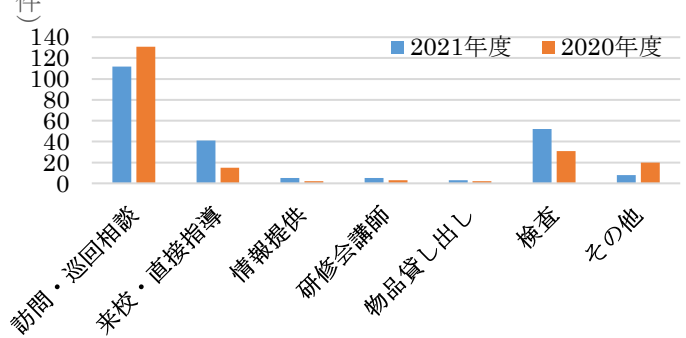


## 2. 依頼内容別の相談件数

	訪問・巡回相談	来校・直接指導	情報提供	研修会講師	物品貸出し	発達検査	その他
件数(件)	112	41	5	5	3	52	8
割合(%)	50	18	2	2	1	23	4

割合は，小数点以下を四捨五入しています。

依頼内容別 相談件数の前年度との比較



今年度の相談件数は226件で，昨年度より増加しました。2月以降，新型コロナウイルス感染拡大により，急遽相談が中止になったケースもあり，地域の学校園の教育相談に関するニーズは一段と高まっています。

依頼者別の相談件数では，小学校の割合が高く著しく増加しました。従来から学習の高度化，抽象化が進む3年生の相談が多いのですが，今年度は1年生の相談依頼が過半数を占めています。コロナ禍で様々な活動が制約を受ける中で，学習や学校生活に対するスキルの未獲得や未熟達の児童の増加も要因だと思われます。

本校のセンター的機能の特色として，幼児児童生徒の来校や相談員の訪問による直接的な指導を行う体制を構築していることが挙げられます。今年度は，12名（のべ32回）の児童生徒に対して放課後を利用した教育課程外での個別指導（通級的な指導）を実施しました。セッション終了後は，保護者と指導内容や評価について情報を共有し，生活への般化を進めると共に退級（学校への支援移管）を積極的に行いました。

相談内容では，検査依頼が著しく増加しました。なかでも，学習や子育ての指針を得るため保護者から学校を通じての相談依頼が増えました。このようなニーズに対応するため，検査結果を説明する際には，児童の行動を肯定的に捉え検査結果に基づき家庭でできる支援について具体的にアドバイスするよう心がけています。

知能検査として用いられるウエクスラー式知能検査は，「WISC-V」として改訂されました。次年度早々に検査器具，関連書籍等を購入する計画を進めています。併せて，検査者の資質向上に努めていきたいと思っています。